

令和6年度札幌留学生交流センター利用集計表

様式1

【宿泊室】

	宿泊室入居状況			単身用宿泊室				世帯用宿泊室				収受額合計	収受額累計
	室数	入居数	入居率	室数	件数	入居率	料金収受額	室数	件数	入居率	料金収受額		
4月	100	89	89.0%	80	71	88.8%	¥1,955,180	20	18	90.0%	¥700,638	¥2,655,818	¥2,655,818
5月	100	89	89.0%	80	71	88.8%	¥1,921,310	20	18	90.0%	¥674,500	¥2,595,810	¥5,251,628
6月	100	92	92.0%	80	73	91.3%	¥2,121,520	20	19	95.0%	¥581,003	¥2,702,523	¥7,954,151
7月	100	90	90.0%	80	73	91.3%	¥1,826,030	20	17	85.0%	¥571,435	¥2,397,465	¥10,351,616
8月	100	86	86.0%	80	71	88.8%	¥1,891,910	20	15	75.0%	¥568,000	¥2,459,910	¥12,811,526
9月	100	93	93.0%	80	75	93.8%	¥1,689,020	20	18	90.0%	¥540,781	¥2,229,801	¥15,041,327
10月	100	99	99.0%	80	79	98.8%	¥2,169,650	20	20	100.0%	¥677,089	¥2,846,739	¥17,888,066
11月	100	95	95.0%	80	75	93.8%	¥2,272,520	20	20	100.0%	¥745,500	¥3,018,020	¥20,906,086
12月	100	94	94.0%	80	74	92.5%	¥2,109,160	20	20	100.0%	¥687,095	¥2,796,255	¥23,702,341
1月	100	92	92.0%	80	72	90.0%	¥2,056,630	20	20	100.0%	¥561,125	¥2,617,755	¥26,320,096
2月	100	90	90.0%	80	70	87.5%	¥1,785,115	20	20	100.0%	¥760,704	¥2,545,819	¥28,865,915
3月	100	91	91.0%	80	71	88.8%	¥1,748,275	20	20	100.0%	¥667,625	¥2,415,900	¥31,281,815
月平均	100	91.7	91.7%	80	72.9	91.1%	¥1,962,193	20	18.8	93.8%	¥644,625	¥2,606,818	¥2,606,818
合 計	1200	1100	91.7%	960	875	91.1%	¥23,546,320	240	225	93.8%	¥7,735,495	¥31,281,815	¥31,281,815

【会議室】 ※件数=コマ数

	件数	会議室 利用料金	備付物件 利用料金	利用料金 計	減免 件数	減免額	料金収受額	収受額 累計	還付金
4月	22	¥25,000	¥1,000	¥26,000	0	¥0	¥26,000	¥26,000	0
5月	73	¥94,300	¥1,600	¥95,900	46	¥55,200	¥40,700	¥66,700	0
6月	23	¥27,200	¥1,300	¥28,500	0	¥0	¥28,500	¥95,200	0
7月	69	¥84,400	¥1,350	¥85,750	50	¥60,000	¥25,750	¥120,950	0
8月	9	¥11,600	¥0	¥11,600	0	¥0	¥11,600	¥132,550	0
9月	68	¥100,300	¥5,710	¥106,010	49	¥58,180	¥47,830	¥180,380	0
10月	17	¥22,600	¥460	¥23,060	6	¥3,980	¥19,080	¥199,460	0
11月	64	¥79,700	¥200	¥79,900	38	¥45,600	¥34,300	¥233,760	0
12月	21	¥25,400	¥750	¥26,150	0	¥0	¥26,150	¥259,910	0
1月	66	¥88,600	¥2,070	¥90,670	42	¥57,000	¥33,670	¥293,580	0
2月	36	¥59,600	¥2,655	¥62,255	22	¥33,000	¥29,255	¥322,835	0
3月	33	¥58,320	¥3,185	¥61,505	2	¥3,000	¥58,505	¥381,340	0
月平均	41.8	¥56,418	¥1,690	¥58,108	21.3	¥26,330	¥31,778	¥31,778	
合 計	501	¥677,020	¥20,280	¥697,300	255	¥315,960	¥381,340	¥381,340	¥0

【令和6年度利用料金計】

宿泊室利用料金	¥31,281,815
会議室利用料金	¥677,020
備付物件利用料金	¥20,280
利用料金計	¥31,979,115
減免額	¥315,960
還付金	¥0
収受額合計	¥31,663,155

2-(1)様式1 令和6年度札幌留学生交流センター収支決算書(総括表)

1 収 入

単位：円

項 目	予算額	決算額	摘 要
指定管理費	15,947,000	16,567,000	指定管理料（15,947,000円） + 賃金スライド分（620,000円）
利用料金収入	30,216,000	31,310,705	賃料+会議室利用料
利用料金収入（実費分）	13,606,000	15,794,427	光熱水費等
受託事業収入（軽スポーツ室目的外使用料徴収、ほか1件）	231,000	231,000	
収入計（A）	60,000,000	63,903,132	

2 支 出

大項目	中項目	小項目	予算額	決算額	摘 要
指定管理業務	管理費	人件費	736,000	1,042,524	
		物件費			
		小計	736,000	1,042,524	
	事業費	人件費	24,461,000	23,891,660	
		物件費	42,500,000	41,870,721	
		小計	66,961,000	65,762,381	
	指定管理業務計		67,697,000	66,804,905	
受託事業	管理費	人件費			
		物件費			
		小計			
	事業費	人件費			
		物件費			
		小計			
	受託事業計		0	0	
支出計（B）			67,697,000	66,804,905	

3 収 支

項 目	予算額	決算額	摘 要
当期利益（A－B）	△ 7,697,000	△ 2,901,773	
自主事業による利益還元（C）	0	0	
法人税等（法人税、住民税及び事業税）(D)	0	0	
当期純利益（A－B－C－D）	△ 7,697,000	△ 2,901,773	

注)

- 1 施設において自主事業として実施した、札幌市その他の機関や団体からの受託事業がある場合には、当該受託事業をその他の自主事業と区分して記載してください。（様式2以下についても同様です。）
- 2 収入の表は、様式2に基づき作成してください。なお、行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 3 支出の表は、様式3に基づき作成してください。
- 4 収支の表の法人税等欄の額が確定していない場合は、予想される税金の額を記載してください。

2-(2)様式2 令和6年度 札幌留学生交流センター 収支決算書（収入）

1 利用料収入

単位：円

区分	単位	利用料金 (単価)	利用回数	決算額	備考
宿泊室 (世帯用)			225		日割り計算者を含む。
		35,500		7,675,955 (A)	
宿泊室 (単身用)			875		日割り計算者を含む。
		27,600		23,248,980 (B)	
前受使用料等調整額（宿泊室分）				0	
会議室 A	午前	1,000	39	39,000	
		1,200	0	0	令和 7 年度料金での前受分
	午後	1,200	63	75,600	
		1,500	1	1,500	令和 7 年度料金での前受分
	夜間	1,500	15	22,500	
		1,800	0	0	令和 7 年度料金での前受分
	全日	3,000	8	24,000	
		3,600	0	0	令和 7 年度料金での前受分
計		126	162,600 (a)		
会議室 B	午前	1,000	17	17,000	
		1,200	1	1,200	令和 7 年度料金での前受分
	午後	1,200	121	145,200	
		1,500	24	36,000	令和 7 年度料金での前受分
	夜間	1,500	13	19,500	
		1,800	1	1,800	令和 7 年度料金での前受分
	全日	3,000	6	18,000	
		3,600	0	0	令和 7 年度料金での前受分
計		183	238,700 (b)		
会議室 C	午前	1,000	20	20,000	
		1,200	1	1,200	令和 7 年度料金での前受分
	午後	1,200	123	147,600	
		1,500	24	36,000	令和 7 年度料金での前受分
	夜間	1,500	16	24,000	
		1,800	1	1,800	令和 7 年度料金での前受分
	全日	3,000	8	24,000	
		3,600	0	0	令和 7 年度料金での前受分
計		193	254,600 (c)		
繰上げ・延長分				21,120 (d)	令和 6 年 8 月～請求 R6 20,400 + R7 720
備付物件（備品）利用料金				20,280 (e)	[R6] 19,830 + [R7] 450
利用料金減免額				315,960 (f)	[R6] 246,960 + [R7] 69,000
還付金				0 (g)	
前受使用料等調整額（会議室・備品利用料）				16,100 (h)	令和 5 年度前受金（令和 6 年度利用分）
前受使用料等調整額（会議室・備品利用料）				11,670 (i)	令和 7 年度利用分（前受金）
総計				31,310,705	[A+B]+[a+b+c+d+e-f-g+h-i]

注）1 行が足りない場合は、適宜追加ください。

2 税込で記載してください。

2-(2)様式2 令和6年度 札幌留学生交流センター 収支決算書（収入）

2 指定管理業務の事業収入、受託事業収入

単位：円

項 目	事業名	決算額	摘 要
指定管理 業務	指定管理費	16,567,000	指定管理料（15,947,000） + 賃金スライド分（620,000）
	利用料金収入	31,310,705	【賃料】 30,924,935 【会議室】 385,770
	利用料金収入（実費分）	15,794,427	光熱水費、ネット料金など賃料以外
	その他の収入	0	
	指定管理業務事業収入計	63,672,132	
自主事業			
	自主事業収入計	0	
受託事業	軽スポーツ室目的外使用料徴収 業務受託料	231,000	
	受託事業収入計	231,000	
事業収入計		63,903,132	

注）1 項目毎に、事業単位で記載してください。

2 行が足りない場合は、適宜追加してください。

3 税込で記載してください。

4 自主事業において札幌市その他の機関や団体からの補助金の交付を受けた場合には、摘要欄に補助金の交付元名、補助事業名、補助率等を簡潔に記載してください。

5 受託事業欄は、様式1（注1）の事業について記載し、摘要欄には委託元名を記載してください。

2-(3)様式3 令和6年度 札幌留学生交流センター収支決算書（支出）

単位：円

項目	科目	指定管理業務		自主事業		受託事業	
		管理費	事業費	管理費	事業費	管理費	事業費
人件費	給料手当	666,535	10,713,579				
	報酬		7,995,224				
	臨時雇賃金		1,300,530				
	福利厚生費	375,989	3,882,327				
	人件費計	1,042,524	23,891,660				
物件費	会議費		0				
	旅費・交通費		20,000				
	通信運搬費		652,766				
	消耗什器備品費		0				
	消耗品費		457,631				
	修繕費		1,492,997				
	印刷製本費		0				
	光熱水費		19,913,898				
	賃借料		150,701				
	保険料		75,188				
	諸謝金		1,204,500				
	租税公課		200				
	支出負担金		101,841				
	委託費		17,203,103				
	雑支出		597,896				
	物件費計		41,870,721				
支出計		1,042,524	65,762,381				

注) 1行が足りない場合は、適宜追加してください。

2 税込で記載してください。

3 管理費、事業費を区分する際の考え方は次のとおりとします。

- ・管理費：施設における事業を管理するために経常的に要する費用。管理部門の費用など
- ・事業費：施設における事業の目的のために直接要する費用で管理費以外のもの

4 受託事業欄は、様式1（注1）の事業について記載してください。

5 自主事業、受託事業において事業数が複数の場合、各事業の合計額を記載してください。

2-(5)様式5 令和6年度 収支決算書（支出）の内訳（物件費）

1 指定管理業務

科目	決算額		摘要
	管理費	事業費	
会議費		0	
旅費・交通費		20,000	市内移動交通費（SAPICAチャージ代）
通信運搬費		652,766	事務室電話・FAX・インターネット回線料ほか
消耗什器備品費		0	館生貸出用掃除機、居室施錠金具
消耗品費		457,631	居室用蛍光管、イベント用景品・飲料ほか
修繕費		1,492,997	消防設備不良箇所改修、居室混合水栓交換ほか
印刷製本費		0	自転車ステッカー制作費
光熱水費		19,913,898	電気・ガス・水道料金
賃借料		150,701	カラー複合機・イントラネット用PCリース料
保険料		75,188	施設賠償責任保険料、行事用保険料
諸謝金		1,204,500	レジデントアシスタント（4名）、事業協力者 謝金
租税公課		200	収入印紙代
支出負担金		101,841	地区施設負担金、町内会費ほか
委託費		17,203,103	設備管理等業務委託料ほか
雑支出		597,896	銀行収納手数料、NHK受信料ほか
計		41,870,721	

注) 1行が足りない場合は、適宜追加してください。

2 税込で記載してください。

3 摘要欄には各科目の支出の概略を記載してください。

貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位：円)

科目名	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	79,922,627	78,354,485	1,568,142
未収金	21,242,734	15,751,483	5,491,251
預け金	17,000	17,000	0
流動資産合計	101,182,361	94,122,968	7,059,393
2. 固定資産			
(1) 基本財産	521,100,800	521,077,000	23,800
投資有価証券	510,839,070	455,815,270	55,023,800
普通預金	10,261,730	65,261,730	△55,000,000
(2) 特定資産	990,599,882	988,067,096	2,532,786
退職給付引当資産	11,463,295	10,103,729	1,359,566
基金引当有価証券	949,375,700	949,313,700	62,000
基金引当普通預金	22,649,667	22,649,667	0
ポートランド高校生派遣特定資産	1,111,220	0	1,111,220
コンベンション開催資金貸付事業資産	6,000,000	6,000,000	0
(3) その他固定資産	33,548,103	18,028,340	15,519,763
建物	322,175	432,484	△110,309
什器備品	1,458,143	1,815,981	△357,838
ソフトウェア	12,899,149	9,377,435	3,521,714
電話加入権	2,174,536	2,174,536	0
投資有価証券	48,900	59,800	△10,900
リース資産	16,645,200	4,168,104	12,477,096
固定資産合計	1,545,248,785	1,527,172,436	18,076,349
資産合計	1,646,431,146	1,621,295,404	25,135,742
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	23,546,243	20,934,442	2,611,801
未払費用	11,084,158	11,460,805	△376,647
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税等	545,800	1,156,300	△610,500
前受金	11,670	66,100	△54,430
前受会費	20,000	24,000	△4,000
預り金	669,395	2,110,346	△1,440,951
賞与引当金	13,366,586	12,450,321	916,265
一年以内支払予定リース債務	4,118,400	0	4,118,400
流動負債合計	53,432,252	48,272,314	5,159,938
2. 固定負債			
退職給付引当金	22,040,366	21,595,295	445,071
リース債務	12,526,800	4,168,104	8,358,696
固定負債合計	34,567,166	25,763,399	8,803,767
負債合計	87,999,418	74,035,713	13,963,705
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	400,000,000	400,000,000	0
寄付金	120,111,220	119,000,000	1,111,220
基本財産運用益	2,100,800	2,077,000	23,800
指定正味財産合計	522,212,020	521,077,000	1,135,020
(うち基本財産への充当額)	(521,100,800)	(521,077,000)	23,800
(うち特定資産への充当額)	(1,111,220)	(0)	1,111,220
2. 一般正味財産	1,036,219,708	1,026,182,691	10,037,017
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(978,025,367)	(977,963,367)	62,000
正味財産合計	1,558,431,728	1,547,259,691	11,172,037
負債及び正味財産合計	1,646,431,146	1,621,295,404	25,135,742

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	4,804,639	5,191,725	△ 387,086
基本財産受取利息	4,804,639	5,191,725	△ 387,086
② 特定資産運用益	14,526,315	13,309,635	1,216,680
基金受取利息	14,526,315	13,309,635	1,216,680
③ 受取会費	3,073,000	3,249,000	△ 176,000
賛助会員受取会費	3,073,000	3,249,000	△ 176,000
④ 事業収益	100,898,112	90,515,645	10,382,467
自主事業収益	52,246,180	44,849,193	7,396,987
指定管理収益	16,567,000	15,947,000	620,000
受託事業収益	32,084,932	29,719,452	2,365,480
⑤ 受取補助金等	293,356,970	281,058,993	12,297,977
受取地方公共団体補助金	292,945,596	280,268,638	12,676,958
受取民間助成金	411,374	790,355	△ 378,981
⑥ 受取寄付金	1,500,000	237,000	1,263,000
受取寄付金	1,500,000	237,000	1,263,000
⑦ 雑収益	996,329	898,117	98,212
受取利息	124,534	1,877	122,657
雑収益	871,795	896,240	△ 24,445
⑧ 前期損益修正益	0	2,015,300	△ 2,015,300
前期損益修正益	0	2,015,300	△ 2,015,300
経常収益計	419,155,365	396,475,415	22,679,950
(2) 経常費用			
① 事業費	367,446,228	347,516,675	19,929,553
役員報酬	11,255,776	11,255,776	0
給料手当	99,198,985	96,515,732	2,683,253
報酬	34,865,541	34,136,878	728,663
臨時雇賃金	3,570,880	2,810,494	760,386
賞与引当金繰入	11,768,980	10,895,853	873,127
退職給付費用	168,447	0	168,447
退職給付引当金繰入	221,730	2,409,851	△ 2,188,121
福利厚生費	32,331,727	31,361,512	970,215
会議費	188,108	78,165	109,943
旅費交通費	11,765,496	3,412,117	8,353,379
通信運搬費	2,076,660	2,513,900	△ 437,240
減価償却費	7,566,426	7,102,499	463,927
消耗什器備品費	246,133	1,135,498	△ 889,365
消耗品費	5,977,035	3,601,135	2,375,900
修繕費	3,457,418	2,234,106	1,223,312
印刷製本費	687,082	631,676	55,406
光熱水費	20,317,998	19,542,048	775,950
賃借料	31,392,937	30,404,958	987,979
保険料	256,658	210,808	45,850
諸謝金	7,906,357	5,780,708	2,125,649
租税公課	2,100,562	3,096,638	△ 996,076
支払負担金	4,030,806	4,136,977	△ 106,171
支払助成金	42,869,000	34,827,786	8,041,214
委託費	29,581,283	38,342,018	△ 8,760,735
広告宣伝費	2,880,310	350,310	2,530,000
支払寄付金	38,802	31,607	7,195
雑費	725,091	669,625	55,466
商品仕入高	0	28,000	△ 28,000

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
② 管理費	41,602,119	44,747,972	△ 3,145,853
役員報酬	2,813,944	2,813,944	0
給料手当	17,171,021	20,869,425	△ 3,698,404
臨時雇賃金	1,293,455	955,732	337,723
賞与引当金繰入	1,597,606	1,554,468	43,138
退職給付引当金繰入	317,493	0	317,493
福利厚生費	5,998,065	5,979,641	18,424
会議費	0	0	0
旅費交通費	111,586	111,216	370
通信運搬費	124,818	137,940	△ 13,122
減価償却費	978,445	919,598	58,847
消耗什器備品費	22,831	131,725	△ 108,894
消耗品費	264,716	145,056	119,660
修繕費	247,810	206,009	41,801
印刷製本費	16,357	21,445	△ 5,088
光熱水費	127,370	148,902	△ 21,532
賃借料	8,237,943	8,057,222	180,721
保険料	85,550	85,550	0
諸謝金	386,989	443,917	△ 56,928
租税公課	89,765	99,267	△ 9,502
支払負担金	277,000	442,159	△ 165,159
委託費	849,904	1,087,439	△ 237,535
広告宣伝費	0	0	0
雑費	589,451	537,317	52,134
経常費用計	409,048,347	392,264,647	16,783,700
評価損益等調整前当期経常増減額	10,107,018	4,210,768	5,896,250
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	10,107,018	4,210,768	5,896,250
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
有価証券償還益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	1	0	1
経常外費用計	1	0	1
当期経常外増減額	△ 1	0	△ 1
税引前当期一般正味財産増減額	10,107,017	4,210,768	5,896,249
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	10,037,017	4,140,768	5,896,249
一般正味財産期首残高	1,026,182,691	1,022,041,923	4,140,768
一般正味財産期末残高	1,036,219,708	1,026,182,691	10,037,017
II 指定正味財産増減の部			
① 基本財産運用益	4,828,439	5,215,525	△ 387,086
基本財産受取利息	4,828,439	5,215,525	△ 387,086
② 受取補助金等	293,356,970	281,058,993	12,297,977
受取地方公共団体補助金	292,945,596	280,268,638	12,676,958
受取民間助成金	411,374	790,355	△ 378,981
その他受取補助金	0	0	0
③ 受取寄付金	2,611,220	0	2,611,220
受取寄付金	2,611,220	0	2,611,220
一般正味財産への振替額	△ 299,661,609	△ 286,250,718	△ 13,410,891
当期指定正味財産増減額	1,135,020	23,800	1,111,220
指定正味財産期首残高	521,077,000	521,053,200	23,800
指定正味財産期末残高	522,212,020	521,077,000	1,135,020
III 正味財産期末残高	1,558,431,728	1,547,259,691	11,172,037

正味財産増減計算書内訳表

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科目名	公益目的事業会計			収益 事業等 会計	法人会計	内部 取引 消去	合計
	国際化推進事業	共通	小 計				
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
①基本財産運用益	0	4,098,357	4,098,357	0	706,282	0	4,804,639
基本財産受取利息	0	4,098,357	4,098,357	0	706,282	0	4,804,639
②特定資産運用益	0	12,390,946	12,390,946	0	2,135,369	0	14,526,315
特定資産受取利息	0	12,390,946	12,390,946	0	2,135,369	0	14,526,315
③受取会費	0	3,073,000	3,073,000	0	0	0	3,073,000
賛助会員受取会費	0	3,073,000	3,073,000	0	0	0	3,073,000
④事業収益	100,590,112	0	100,590,112	0	308,000	0	100,898,112
自主事業収益	51,938,180	0	51,938,180	0	308,000	0	52,246,180
指定管理収益	16,567,000	0	16,567,000	0	0	0	16,567,000
受託事業収益	32,084,932	0	32,084,932	0	0	0	32,084,932
国・地方公共団体・独法等事業受託料収益	31,999,990	0	31,999,990	0	0	0	31,999,990
その他受託料収益	84,942	0	84,942	0	0	0	84,942
⑤受取補助金等	255,357,627	0	255,357,627	0	37,999,343	0	293,356,970
受取地方公共団体補助金	255,207,627	0	255,207,627	0	37,737,969	0	292,945,596
受取助成金	150,000	0	150,000	0	261,374	0	411,374
⑥受取寄付金	1,500,000	0	1,500,000	0	0	0	1,500,000
受取寄付金	1,500,000	0	1,500,000	0	0	0	1,500,000
⑦雑収益	20,000	0	20,000	0	976,329	0	996,329
受取利息	0	0	0	0	124,534	0	124,534
雑収益	20,000	0	20,000	0	851,795	0	871,795
経常収益計	357,467,739	19,562,303	377,030,042	0	42,125,323	0	419,155,365
(2) 経常費用							
①事業費	367,446,228	0	367,446,228	0	0	0	367,446,228
役員報酬	11,255,776	0	11,255,776	0	0	0	11,255,776
給料手当	99,198,985	0	99,198,985	0	0	0	99,198,985
報酬	34,865,541	0	34,865,541	0	0	0	34,865,541
臨時雇賃金	3,570,880	0	3,570,880	0	0	0	3,570,880
賞与引当金繰入	11,768,980	0	11,768,980	0	0	0	11,768,980
退職給付費用	168,447	0	168,447	0	0	0	168,447
退職給付引当金繰入	221,730	0	221,730	0	0	0	221,730
福利厚生費	32,331,727	0	32,331,727	0	0	0	32,331,727
会議費	188,108	0	188,108	0	0	0	188,108
旅費交通費	11,765,496	0	11,765,496	0	0	0	11,765,496
通信運搬費	2,076,660	0	2,076,660	0	0	0	2,076,660
減価償却費	7,566,426	0	7,566,426	0	0	0	7,566,426
消耗什器備品費	246,133	0	246,133	0	0	0	246,133
消耗品費	5,977,035	0	5,977,035	0	0	0	5,977,035
修繕費	3,457,418	0	3,457,418	0	0	0	3,457,418
印刷製本費	687,082	0	687,082	0	0	0	687,082
光熱水費	20,317,998	0	20,317,998	0	0	0	20,317,998
賃借料	31,392,937	0	31,392,937	0	0	0	31,392,937
保険料	256,658	0	256,658	0	0	0	256,658
諸謝金	7,906,357	0	7,906,357	0	0	0	7,906,357
租税公課	2,100,562	0	2,100,562	0	0	0	2,100,562
支払負担金	4,030,806	0	4,030,806	0	0	0	4,030,806
支払助成金	42,869,000	0	42,869,000	0	0	0	42,869,000
委託費	29,581,283	0	29,581,283	0	0	0	29,581,283
広告宣伝費	2,880,310	0	2,880,310	0	0	0	2,880,310
支払寄付金	38,802	0	38,802	0	0	0	38,802
雑費	725,091	0	725,091	0	0	0	725,091
②管理費	0	0	0	0	41,602,119	0	41,602,119
役員報酬	0	0	0	0	2,813,944	0	2,813,944
給料手当	0	0	0	0	17,171,021	0	17,171,021
臨時雇賃金	0	0	0	0	1,293,455	0	1,293,455
賞与引当金繰入	0	0	0	0	1,597,606	0	1,597,606
退職給付引当金繰入	0	0	0	0	317,493	0	317,493
福利厚生費	0	0	0	0	5,998,065	0	5,998,065
旅費交通費	0	0	0	0	111,586	0	111,586
通信運搬費	0	0	0	0	124,818	0	124,818
減価償却費	0	0	0	0	978,445	0	978,445
消耗什器備品費	0	0	0	0	22,831	0	22,831
消耗品費	0	0	0	0	264,716	0	264,716
修繕費	0	0	0	0	247,810	0	247,810
印刷製本費	0	0	0	0	16,357	0	16,357
光熱水費	0	0	0	0	127,370	0	127,370
賃借料	0	0	0	0	8,237,943	0	8,237,943
保険料	0	0	0	0	85,550	0	85,550
諸謝金	0	0	0	0	386,989	0	386,989
租税公課	0	0	0	0	89,765	0	89,765
支払負担金	0	0	0	0	277,000	0	277,000
委託費	0	0	0	0	849,904	0	849,904
雑費	0	0	0	0	589,451	0	589,451
経常費用計	367,446,228	0	367,446,228	0	41,602,119	0	409,048,347
評価損益等調整前当期経常増減額	△9,978,489	19,562,303	9,583,814	0	523,204	0	10,107,018
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△9,978,489	19,562,303	9,583,814	0	523,204	0	10,107,018
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益	0	0	0	0	0	0	0
有価証券償還益	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
①固定資産除却損	0	1	1	0	0	0	1
経常外費用計	0	1	1	0	0	0	1
当期経常外増減額	0	△1	△1	0	0	0	△1
他会計振替前一般正味財産増減額	△9,978,489	19,562,302	9,583,813	0	523,204		10,107,017
税引前当期一般正味財産増減額	△9,978,489	19,562,302	9,583,813	0	523,204		10,107,017
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	70,000		70,000
当期一般正味財産増減額	△9,978,489	19,562,302	9,583,813	0	453,204	0	10,037,017
一般正味財産期首残高	—	—	—	—	—	—	1,026,182,691
一般正味財産期末残高	—	—	—	—	—	—	1,036,219,708
II 指定正味財産増減の部							
①基本財産運用益	0	4,118,658	4,118,658	0	709,781	0	4,828,439
基本財産受取利息	0	4,118,658	4,118,658	0	709,781	0	4,828,439
②受取補助金等	255,357,627	0	255,357,627	0	37,999,343	0	293,356,970
受取地方公共団体補助金	255,207,627	0	255,207,627	0	37,737,969	0	292,945,596
③受取寄付金	0	2,611,220	2,611,220	0	0	0	2,611,220
一般正味財産への振替額	△256,857,627	△4,098,357	△260,955,984	0	△38,705,625	0	△299,661,609
当期指定正味財産増減額	△1,500,000	2,631,521	1,131,521	0	3,499	0	1,135,020
指定正味財産期首残高	—	—	—	—	—	—	521,077,000
指定正味財産期末残高	—	—	—	—	—	—	522,212,020
III 正味財産期末残高	—	—	—	—	—	—	1,558,431,728

財務諸表に対する注記

1 継続事業の前提に関する注記

該当なし。

2 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

償却原価法を採用しています。ただし、取得価額と券面額との差額について重要性の乏しいものについては、取得価額により評価しています。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を採用しています。

(3) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法（ただし、平成 10 年 4 月 1 日以降に取得した建物（附属設備を除く）及び平成 28 年 4 月 1 日以降に取得した付属設備については、定額法）を採用しています。

② 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しています。

なお、財団利用のソフトウェアについては、財団内における利用可能期間（5 年）に基づいています。

③ リース資産

リース期間定額法を採用しています。

(4) 引当金の計上基準

- ・ 退職給付引当金……正規職員・専門員の退職給付に備えるため、退職金規程に基づく期末退職給与の自己都合要支給額から外部手当額を控除した金額に相当する金額を計上しています。
- ・ 賞与引当金………正規職員・専門員・臨時職員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しています。

(5) 消費税等の会計処理

税込方式を採用しています。

3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産引当有価証券	455,815,270	100,023,800	45,000,000	510,839,070
基本財産引当普通預金	65,261,730	45,000,000	100,000,000	10,261,730
小 計	521,077,000	145,023,800	145,000,000	521,100,800
特定資産				
退職給付引当資産	10,103,729	1,359,566	0	11,463,295
基金引当有価証券	949,313,700	62,000	0	949,375,700
基金引当普通預金	22,649,667	0	0	22,649,667
コンベンション開催資金貸付資産	6,000,000	0	0	6,000,000
ポータルランド高校生派遣特定資産	0	1,111,220	0	1,111,220
小 計	988,067,096	2,532,786	0	990,599,882
合 計	1,509,144,096	147,556,586	145,000,000	1,511,700,682

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当 額)	(うち一般正味 財産からの充当 額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
基本財産引当有価証券	510,839,070	(510,839,070)	(0)	－
基本財産引当普通預金	10,261,730	(10,261,730)	(0)	－
小 計	521,100,800	(521,100,800)	(0)	－
特定資産				
退職給付引当資産	11,463,295	(0)	(0)	(11,463,295)
基金引当有価証券	949,375,700	(0)	(949,375,700)	－
基金引当普通預金	22,649,667	(0)	(22,649,667)	－
コンベンション開催資金貸付資産	6,000,000	(0)	(6,000,000)	－
ポータルランド高校生派遣特定資産	1,111,220	(1,111,220)	(0)	－
小 計	990,599,882	(1,111,220)	(978,025,367)	(11,463,295)
合 計	1,511,700,682	(522,212,020)	(978,025,367)	(11,463,295)

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	15,109,206	14,787,031	322,175
什器備品	19,936,651	18,478,508	1,458,143
ソフトウェア	28,328,492	15,429,343	12,899,149
リース資産	36,325,680	19,680,480	16,645,200
合 計	99,700,029	68,375,362	31,324,667

6 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
日本国債（第 113 回）	25,048,900	26,060,000	1,011,100
日本国債（第 132 回）	70,839,070	73,073,200	2,234,130
（日本国債小計）	95,887,970	99,133,200	3,245,230
札幌市債（平成 22 年度第 11 回）	100,000,000	102,270,000	2,270,000
（札幌市債小計）	100,000,000	102,270,000	2,270,000
北海道大学債（第 1 回）	100,000,000	93,000,000	△7,000,000
（北海道大学債小計）	100,000,000	93,000,000	△7,000,000
横浜市債（第 19 回 20 年）	99,988,900	104,050,000	4,061,100
埼玉県債（平成 30 年第 8 回）	100,000,000	73,120,000	△26,880,000
福岡県債（平成 19 年度第 7 回）	45,000,000	45,715,500	715,500
共同発行市場公募地方債（第 167 回）	10,000,000	9,864,000	△136,000
愛知県・名古屋市折半保証第 99 回名古屋高速道路債	99,991,000	103,550,000	3,559,000
外国政府保証公営企業債（K F W）	10,000,000	10,114,000	114,000
地方公共団体金融機構債（第 71 回）	100,000,000	99,990,000	△10,000
成田国際空港社債（第 27 回）	100,000,000	83,800,000	△16,200,000
新関西国際空港債（第 16 回）	199,395,800	188,580,000	△10,815,800
中国電力株式会社第 404 回社債	100,000,000	97,330,000	△2,670,000
北海道電力株式会社第 367 回社債	100,000,000	76,080,000	△23,920,000
広島県・広島市折半保証第 29 回広島高速道路債	100,000,000	86,330,000	△13,670,000
新関西国際空港債（第 36 回）	100,000,000	88,760,000	△11,240,000
合 計	1,460,263,670	1,361,686,700	△98,576,970

7 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりです。

(単位：円)

補助金等の名称		交 付 者	前期末 残 高	当 期 増加額	当 期 減少額	当期末 残 高	貸借対照表上 の記載区分
補 助 金	管理費分	札幌市	-	153,461,496	153,461,496	-	-
	コンベンション分	札幌市	-	86,541,596	86,541,596	-	-
	コンベンション誘致促進助成分	札幌市	-	34,850,000	34,850,000	-	-
	ハイブリッドコンベンション助成分	札幌市	-	6,128,000	6,128,000	-	-
	コンベンションシャトルバス助成分	札幌市	-	1,635,000	1,635,000	-	-
	インセンティブツアー誘致促進助成分	札幌市	-	2,973,504	2,973,504	-	-
	国際化推進事業分	札幌市	-	7,056,000	7,056,000	-	-
	市立高校生ポータル交流事業	札幌市	-	300,000	300,000	-	-
（小計）			0	292,945,596	292,945,596	0	
助 成 金	研修助成金	（一財）自治体国際化協会	-	111,374	111,374	-	-
	研修助成金	地域国際化協会連絡協議会	-	150,000	150,000	-	-
	伊藤組 100 年基金助成金	伊藤組 100 年基金	-	150,000	150,000	-	-
	（小計）		0	411,374	411,374	0	0
合 計			0	293,356,970	293,356,970	0	0

8 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	0
受取地方公共団体補助金の振替額	292,945,596
受取民間助成金の振替額	411,374
その他補助金の振替額	0
寄付金の振替額	1,500,000
基本財産受取利息の振替額	4,804,639
経常外収益への振替額	0
合 計	299,661,609

9 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりです。

(単位：円)

属性	法人等の名称	住所	資産総額	事業の内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額	科目	期末残高
						役員の兼任等	業務上の関連				
支配法人	札幌市	注1	—	地方公共団体	—	—	出資団体	注2	341,512,586	未収金 未払金	14,343,500 5,680,194

注1 札幌市中央区北1条西2丁目

注2 補助金 292,945,596 円、受託料 31,999,990 円、指定管理費収入 16,567,000 円

10 その他

(1) 退職給付関係

① 採用している退職給付制度の概要

(公財)札幌市中小企業共済センターの退職金共済掛金制度と当財団の退職一時金制度を併用しています。

② 退職給付債務及びその内訳

(単位：円、以下同じ。)

a. 退職給付債務	22,040,366
b. 会計基準変更時差異の未処理額	0
c. 退職給付引当金 (a+b)	22,040,366

③ 退職給付費用に関する事項

a. 勤務費用	707,670
b. 会計基準変更時差異の費用処理額	0
c. 退職給付費用 (a+b)	707,670

④ 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算にあたっては、退職一時金制度にもとづく期末自己都合要支給額を基礎として計算しています。

⑤ 会計基準変更時差異の処理年数 1 年

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載しております。

2 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	12,450,321	13,366,586	12,450,321	0	13,366,586
退職給付引当金	21,595,295	958,850	208,233	305,546	22,040,366

財 産 目 録

令和7年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的	金額
流動資産	現金預金	北洋銀行札幌市役所支店 3037587	運転資金として	8,871,219
		北洋銀行札幌市役所支店 0306613	運転資金として	2,921,474
		北洋銀行札幌市役所支店 3145991	運転資金として	39,609
		北洋銀行札幌市役所支店 0323000	運転資金として	62,686,593
		北海道銀行本店 1130590	運転資金として	356,823
		北海道銀行本店 1209952	運転資金として	2,596,541
		振替口座(賛助会費)2805	運転資金として	2,450,368
	(現金預金合計)			79,922,627
	未収金	札幌市補助金 3件	誘致促進助成金 他3件	5,600,000
		指定管理費収入	札幌市等からの指定管理費収入(賃金スライド分)	620,000
		受託事業収入	札幌市等からの受託事業収入	8,123,500
		札幌留学生交流センター利用料等	札幌留学生交流センター館費等	5,568,375
		寄付金収入	ポートランド高校生派遣に係る寄付金(個人3名)	23,000
		広告料収入	HP/バナー広告掲載料	50,000
		雑収入	(一財)北海道国際交流センター札幌事務所設置費用 他2件	218,547
	(未収金合計)	その他(発生経費との相殺)	札幌留学生交流センター光熱水費の他団体負担分(1か月分) 他2件	1,039,312
				21,242,734
	預け金	ICカードデポジット34件	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員移動用ICカードKitaca及びSAPICAのデポジット	17,000
流動資産合計				101,182,361
固定資産 基本財産	投資有価証券	福岡県平成19年第7回公募公債	公益目的及び管理目的保有財産であり、運用益を公益目的事業及び法人管理事業の財源として使用している	45,000,000
		利付国債20年第132回他1件	公益目的及び管理目的保有財産であり、運用益を公益目的事業及び法人管理事業の財源として使用している	85,839,070
		共同発行市場公募地方債	公益目的及び管理目的保有財産であり、運用益を公益目的事業及び法人管理事業の財源として使用している	10,000,000
		埼玉県第8回30年公募公債	公益目的及び管理目的保有財産であり、運用益を公益目的事業及び法人管理事業の財源として使用している	20,000,000
		第27回成田国際空港社債	公益目的及び管理目的保有財産であり、運用益を公益目的事業及び法人管理事業の財源として使用している	100,000,000
		中国電力株式会社第404回社債	公益目的及び管理目的保有財産であり、運用益を公益目的事業及び法人管理事業の財源として使用している	100,000,000
		北海道電力株式会社第367回社債	公益目的及び管理目的保有財産であり、運用益を公益目的事業及び法人管理事業の財源として使用している	50,000,000
		北海道大学債第1回	公益目的及び管理目的保有財産であり、運用益を公益目的事業及び法人管理事業の財源として使用している	100,000,000
		(投資有価証券合計)		510,839,070
	普通預金	北洋銀行 札幌市役所支店 3037587	公益目的及び管理目的保有財産であり、運用益を公益目的事業及び法人管理事業の財源として使用している	10,261,730
(基本財産合計)				521,100,800

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的	金額
特定資産	退職給付引当資産	保険積立金(日本生命保険)	退職給付引当金の支払財源として積み立てている	11,463,295
	基金引当投資有価証券	札幌市平成22年度第11回公募公債	公益目的及び管理目的保有財産であり、運用益を公益目的事業及び法人管理事業の財源として使用している	100,000,000
		横浜市第19回20年公募公債	公益目的及び管理目的保有財産であり、運用益を公益目的事業及び法人管理事業の財源として使用している	99,988,900
		利付国債20年第113回	公益目的及び管理目的保有財産であり、運用益を公益目的事業及び法人管理事業の財源として使用している	10,000,000
		埼玉県第8回30年公募公債	公益目的及び管理目的保有財産であり、運用益を公益目的事業及び法人管理事業の財源として使用している	80,000,000
		愛知県・名古屋市折半保証第99回名古屋市高速道路債 (政保公営企業債)	公益目的及び管理目的保有財産であり、運用益を公益目的事業及び法人管理事業の財源として使用している	99,991,000
		KfWドイツ復興金融公庫ユーロ円債 (外国政保公企債)	公益目的及び管理目的保有財産であり、運用益を公益目的事業及び法人管理事業の財源として使用している	10,000,000
		第16回新関西国際空港債	公益目的及び管理目的保有財産であり、運用益を公益目的事業及び法人管理事業の財源として使用している	199,395,800
		第71回地方公共団体金融機構債(財投債)	公益目的及び管理目的保有財産であり、運用益を公益目的事業及び法人管理事業の財源として使用している	100,000,000
		北海道電力株式会社第367回社債	公益目的及び管理目的保有財産であり、運用益を公益目的事業及び法人管理事業の財源として使用している	50,000,000
		広島県・広島市折半保証広島高速道路債	公益目的及び管理目的保有財産であり、運用益を公益目的事業及び法人管理事業の財源として使用している	100,000,000
	第36回新関西国際空港債	公益目的及び管理目的保有財産であり、運用益を公益目的事業及び法人管理事業の財源として使用している	100,000,000	
	(基金引当投資有価証券合計)			949,375,700
	基金引当普通預金	北洋銀行 札幌市役所支店 3037587	公益目的及び管理目的保有財産であり、運用益を公益目的事業及び法人管理事業の財源として使用している	22,649,667
	(基金引当普通預金合計)			22,649,667
(特定資産合計)	コンベンション開催資金貸付事業資金	北洋銀行 札幌市役所支店 3145991	「コンベンション開催資金貸付事業」を行うための財源として使用している	6,000,000
	ポートランド高校生派遣特定資産	北洋銀行 札幌市役所支店 3037587	ポートランドへの高校生派遣を行うための財源として使用している	1,111,220
				990,599,882
その他固定資産	建物	建物付属設備(パーティション工事等)	共用財産	322,175
	什器備品	応接セットほか 計38点	共用財産	1,458,143
	無形固定資産	問い合わせ用ウェブフォームほか 計23点	共用財産	12,899,149
	電話加入権	NTT東日本29件	共用財産	2,174,536
	投資有価証券	有価証券(国債および財投債)	満期保有目的債券の取得価額と債券金額との差額	48,900
	リース資産	会計システムハードウェア、ソフトウェア、イントラPC・プリンタ、高速インクジェットプリンター	公益目的事業及び管理目的の業務に使用している	16,645,200
(その他固定資産合計)				33,548,103
固定資産合計				1,545,248,785
資産合計				1,646,431,146

貸借対照表科目		場所・物量等		使用目的	金額
流動負債	未払金	札幌市補助金精算返還2件		管理運営費補助金、コンベンションビューロー運営補助金	5,649,908
		未払助成金		コンベンション誘致促進助成金 1件 ハイブリッドコンベンション助成金 1件	5,000,000
		福利厚生費(社保事業主負担3月分及び永年勤続慰労金)		公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員等の共済費	1,745,350
		光熱水費の未払還付金		札幌留学生交流センター館生への光熱水費過徴収分還付	2,332
		業務委託料、財団定期刊行物印刷等18件		公益目的事業に使用する諸経費	5,364,820
		事務機器等賃借料・保守料、電話料金等通信費、新聞購読料・事務用品等購入他 計142件		公益目的事業及び管理目的の業務に使用する諸経費	5,783,833
		(未払金合計)			23,546,243
		未払費用	職員給与手当	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員等の給与手当3月分	11,084,158
		未払法人税等	法人道・市民税均等割額		70,000
		未払消費税等	消費税納付額		545,800
	前受金	札幌留学生交流センター会議室利用料、バナー広告利用料	札幌留学生交流センターの翌事業年度会議室利用料収入、ホームページバナー広告利用料の前受金	11,670	
	前受会費	賛助会費個人1件	公益目的事業及び管理目的の業務に使用する翌事業年度の賛助会費	20,000	
	預り金	社会保険料本人負担3月分		公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員等の給与控除預り分	57,380
		職員所得税		公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員等の給与控除預り分	279,022
		職員地方税		公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員等の給与控除預り分	24,200
		職員積立共済年金		公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員等の給与控除預り分	4,950
		職員共済掛金		公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員等の給与控除預り分	159,591
		謝金等源泉所得税等		講師等に係る源泉所得税の預り金等	144,252
		(預り金合計)			669,395
		賞与引当金	正規職員・専門員・臨時職員に対するもの	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の賞与引当金	13,366,586
	一年以内支払予定リース債務	公益法人会計システム	令和7年度分リース債務の返却分	4,118,400	
流動負債合計		53,432,252			
固定負債	退職給付引当金	正規職員・専門員に対するもの	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の退職給付金の引当金	22,040,366	
	リース負債	公益情報システム(株)ほか	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する会計システムのハードウェアおよびソフトウェア、イントラPC、高速インクジェットプリンター	12,526,800	
固定負債合計		34,567,166			
負債合計					87,999,418
正味財産					1,558,431,728

札幌留学生交流センターアンケート(館生対象)調査結果 (令和6年度実施)

アンケート配布数 90 枚 アンケート回収数 46 枚 回収率 51%

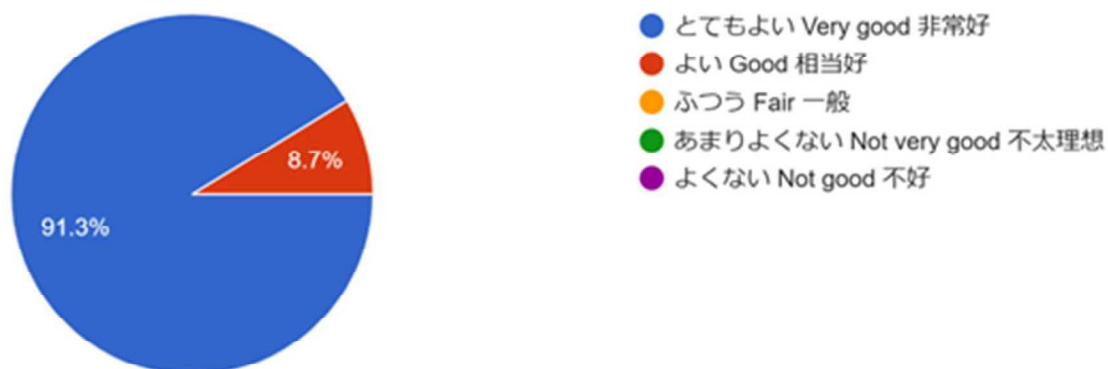
【部屋タイプ】 ①単身用 31(67.4%) ②世帯用 15(32.6%)

【通学している学校】 ①大学学部 7(15.2%) ②大学院(研究生含む) 32(69.6%)
③短期大学 1(2.2%) ④高等専門学校 0 ⑤日本語学校 6(13%)

【留学生区分】 ①国費 15(32.6%) ②私費 25(54.3%) ③外国政府派遣 6(13%)

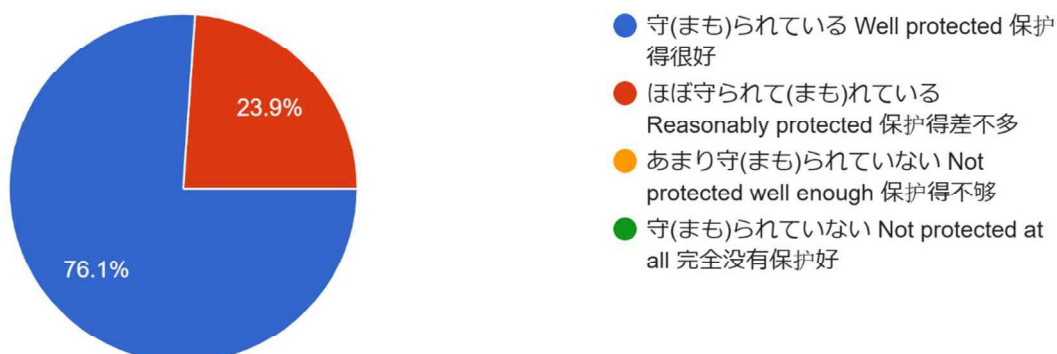
【国籍】 ①アジア 36(78.3%) ②ヨーロッパ 7(15.2%)
③アフリカ 1(2.2%) ④北アメリカ 1(2.2%)
⑤中南米 1(2.2%)

1. 管理室(かんりしつ)に質問(しつもん)したり、相談(そうだん)したときの職員(しよくいん)の対応(たいおう)はどうですか? How do you feel about the staff's response when you ask or consult about something? 当你询问或咨询某些问题时, 你对管理室职员的答复感觉如何?



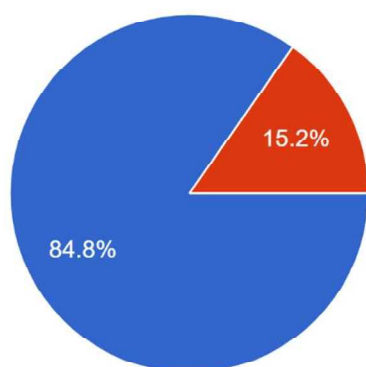
2. センター内(ない)でのプライバシーは守(まも)られていますか? Do you think the privacy in this center is protected well? 你认为本中心的隐私是否得到了足够的保护?

46 件の回答



3. センターや部屋(へや)の安全(あんぜん)は保(たも)たれていますか？ How do you think of the security of this center? 你认为本中心的安全是否得到保障？

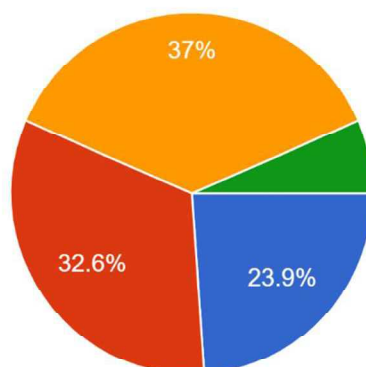
46 件の回答



- 十分(じゅうぶん)に保(たも)たれている Highly secured 保持得很好
- ほぼ保(たも)たれている Reasonably secured 保持得差不多
- あまり保(たも)たれていない Not secured well enough 保持得不太理想
- 保(たも)たれていない Not secured at all 完全没有保持好

4. センターが行(おこな)うイベントにどれくらい参加(さんか)しましたか？ How many times did you participate in the events of this center? 你几次参加过几次本中心举办的活动呢？

46 件の回答



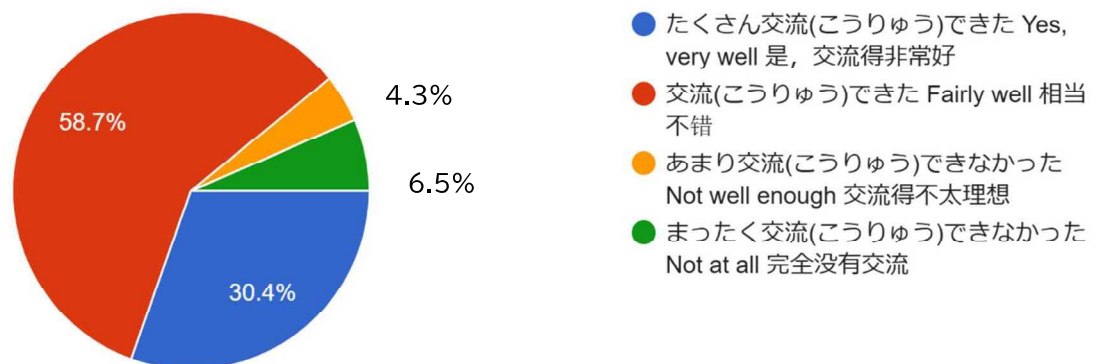
- 年(ねん)に 5回(かい)以上(いじょう) 5 times or more a year 这一年内5次以上
- 年(ねん)に 3~4回(かい) 3 or 4 times a year 这一年内3, 4次
- 年(ねん)に 1~2回(かい) Once or twice a year 这一年内1, 2次
- 参加(さんか)しなかった Never 没参加过

4-2 センターでのイベントに参加しなかった人は、理由を教えてください。(3件の回答)

- ・忙しい
- ・Busy with university work (大学の勉強で忙しいから)
- ・とくにない

5. イベントでは、地域(ちいき)の人(ひと)たちと交流(こうりゅう)できましたか？ Were you able to interact with the local residents by p...g in the events? 通过参加活动，你是否能够与当地居民进行互动？

46 件の回答

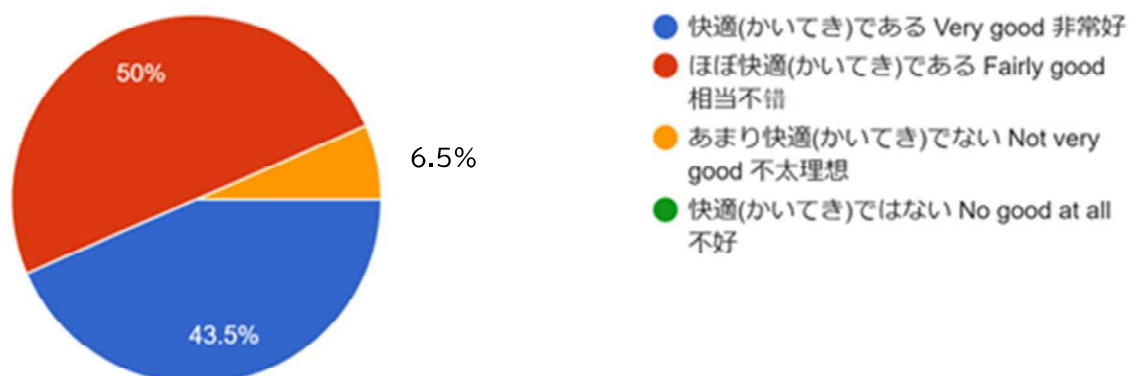


5-2 センターでのイベント交流できなかった人は、理由を教えてください。(5 件の回答)

- ・参加したことないです
- ・Not good with the language (日本語に自信がないから)
- ・Probably, because of poor my Japanese (たぶん日本語が話せないから)
- ・No time (時間がない)
- ・とくにない

6. 家具(かぐ)や家電(かでん)など部屋(へや)の中(なか)の設備(せつび)は、センターでの生活(せいかつ)を快適(かいてき)にしていますか？ How do you feel about the furniture and electrical appliances in your room? 你觉得寝室里的家具和电器等设备如何？

46 件の回答

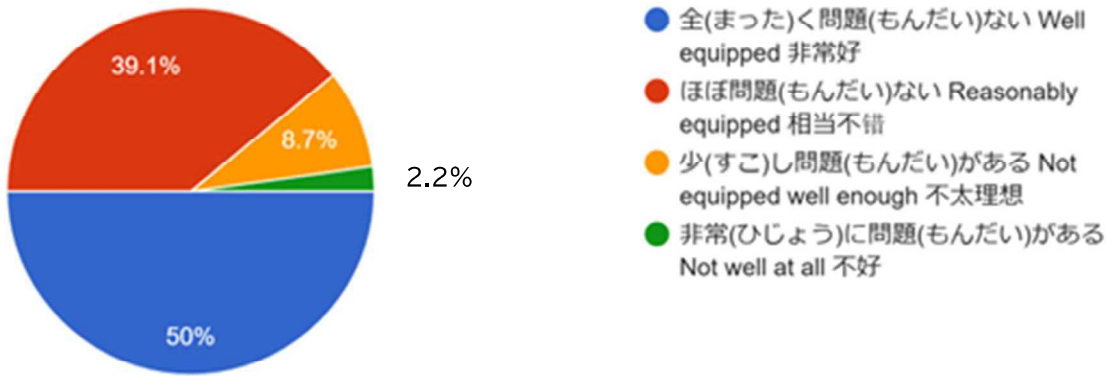


6-2 部屋の中の設備について、あなたの答えの理由を教えてください。(3 件の回答)

- ・Just the poor quality of the materials (設備の質が悪い)
- ・They are so crowded and some of them are really old (物が多すぎるし、古いものも多い)
- ・お湯がよく温まらない給湯器、暖房の稼働時間が短くて不合理なうえ、十分に暖まらない

7. センターの共用(きょうよう)施設(しせつ)、調理室(ちようりしつ)、洗濯室(せんたくしつ)、トランクルーム、軽(けい)スポーツ室(しつ)、ラウンジ、学習室(がくしゅうしつ)などに問題(もんだい)はないですか？ Do you think the common facilities (kitchen, laundry room, trunk room, lounge, gym, and study room) are properly equipped?你认为共用设施（厨房、洗衣室、储藏室、休息室、体育馆和学习室）是否配备齐全？

46 件の回答



7-2 「少し問題がある」「非常に問題がある」を選んだ人は、どの共用施設に問題があるか教えてください。
(5 件の回答)

- The stove use fee is inappropriately high (コンロの利用料金が不適切に高い。)
- 厨房の修理が遅い、少し不便利
- 体育館の設備めっちゃ古い、時々壊れてる、洗濯機もたまにエラー出てました。
- 電子レンジの火力が弱く、IH クッキングヒーターの加熱速度が遅く、しばしば故障する。
- Some of appliances are out of order usually (家電製品は、壊れていることが多い。)

8. 軽(けい)スポーツ室はどの程度(ていど)利用(りよう)していますか？ How often do you use the gym?你使用体育馆的频率是多少？

46 件の回答



9. 軽スポーツ室を利用したことがある人は、どのようなスポーツ／運動をしていますか？

(16 件の回答※複数回答可)

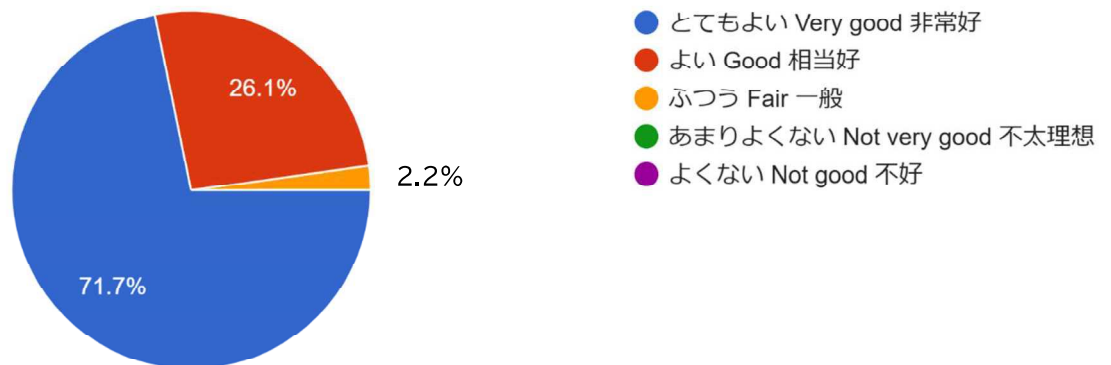
バドミントン 8、バスケットボール4、ヨガ2、使っていない2

卓球、居合道、フィットネス、リクレーション、子供と遊ぶ 各1

10. センターに対(たい)する総合的(そうごうてき)な満足度(まんぞくど)を教(おし)えてください。

What is your overall satisfaction with the center?你对本中心的总体满意度如何？

46 件の回答



11. センターの生活環境について、改善してほしいことがあれば自由に記入してください。

- Internet connection still too slow especially in winter season. In winter everyone using so internet speed should increase more.
(インターネット接続が遅すぎる。特に冬期は皆インターネットを使うからもっとスピードを上げるべき。)
- Recently night electricity very high price per kwh. I think that brings a big problem because water heater always use night electricity.
(最近、深夜電力の料金が非常に高い。給湯器は夜間電力を使用するため、大きな問題だ。)
- Third, before water fee was per m³ calculated bur now it is constant fee. It doesn't feel like saving water any merit. So constant fee should decrease and using per m³ should increase old system was better.
(水道料金が以前は 1m³ あたりの計算だったのに一定料金になった。これでは節水しなくなるので、一定料金をやめ、1m³ あたりの計算に戻すべきである。)
- もっと夜遅くに電話できるスペースがあれば良いなと思います。
- 厳冬期に暖房の使用時間を制限すべきではありません。留学生の寒さへの耐性が異なることを考慮すべきです。暖房の使用時間が不合理なため、寝ている間に寒さで目が覚めることがよくあります。
- Extension of garbage collection time (e.g. 20:00-8:00), Reduction of furniture, Electronic Translation Devices that can translate the speaking for security guards.(ゴミ収集時間の延長(20:00-8:00)、家具の削減、警備員と会話するための電子翻訳機。)
- Current study room hours are limited, restricting access for students needing late-night or early-morning study sessions. Extend the operational hours to remain open until 6:00 AM, providing greater flexibility. Consider a small increase in room rates to cover the additional staffing and maintenance costs.

(学習室の利用時間が限られており、深夜や早朝に勉強が必要な学生の利用が制限されている。利用時間を翌朝午前 6 時まで延長してほしい。管理室スタッフの増員と維持費を賄うため、賃料の若干の値上げを検討してはどうか。)

- The existing internet service is often unreliable and slow, hampering efficient study and online coursework. Upgrade to a high-speed and more reliable internet service.

(インターネット・サービスの信頼性が低く速度が遅いため、学習やオンラインワークの妨げになっている。高速で信頼性の高いインターネット・サービスにアップグレードしてほしい。)

- The existing mattresses are aging and becoming uncomfortable, affecting sleep quality and health. Investing in new mattresses would greatly enhance comfort.

(マットレスが古くて寝心地が悪く、睡眠の質と健康に影響を及ぼしている。)

- 希望房间里晚上的网速可以更快一些(夜間、部屋のインターネット速度がもっと速くなればと思う。)

- To stay of parents/siblings is restricted to 21 days. There shouldn't be any restriction on that.

(両親や兄弟の滞在が 21 日間に制限されている。制限は必要ないはずだ。)

- The laundry dryer does not dry well.(乾燥機の乾きが悪い。)

- It would be nice to allow post-doctoral students to stay in this dorm. I know some that live far and have difficulties with their daily lives. Living here could support them and connect them with other international residents.

(博士課程修了後の学生がこの寮に滞在できるようになるといいと思う。遠方に住んでいて日常生活が困難な人を何人か知っている。ここに住めば、彼らをサポートし、他の外国人居住者とつながることができると思う。)

- 洗濯機有時會故障 不能脫水 另外希望有槽洗淨功能

(洗濯機が時々故障して脱水できない。槽洗淨機能があればいい。)

- 卫生间的水龙头如果可以合并为一个, 在调节水温的时候会变得更方便, 也可以节约用水。

(バスルームの水栓を 1 つにまとめることができれば、水温調節がより便利になり、節水にもなる。)

- (i) Weekly Aerobics and Yoga Classes(毎週エアロビ／ヨガ教室をする); (ii) Organise volunteering activities like park clean-ups to engage students in environmental conservation(環境保護に参加できるよう、公園清掃などのボランティア活動を実施する); (iii) Conduct workshops and Include practical classes like photography, cooking, or DIY crafts(写真、料理、DIY などの実用的なワークショップを開催する。)

- Providing better internet environment, it is hard to work at home due to slow internet connection.

(インターネット環境を整備してほしい。速度が遅く部屋で勉強できない。)

- More events to interact? More events like beach cleaning, ice fishing?

(もっと交流イベントがあればいい。海岸清掃やわかさぎ釣りとか?)

- I feel that the internet of SISC, specifically the available bandwidth, needs to be upgraded. In the evenings and especially on weekends, internet speeds are so slow that I often can't play a simple YouTube video at 360p (lowest) resolution without it buffering. It makes video calls with family back home difficult, and I am forced to rely on my mobile data, which is limited.(インターネットについて、特に利用可能な帯域幅をアップグレードする必要があると感じている。夕方や特に週末は、インターネットの速度がとても遅く、YouTube の 360p(最低)の解像度の簡単なビデオをバッファリングなしで再生できないことがよくある。そのため、故郷の家族とのビデオ通話も難しく、限られたモバイルデータに頼らざるを得ない。)

•Currently, the rules state that guests can stay until 10pm. I understand that this was imposed during the pandemic to limit incoming individuals, however that time is over. Justification as to why this rule still exists should be made to residents, as well as tangible examples presented to justify the continuance of this restriction. If it cannot be justified through incidents that actually occurred, the rule should be repealed. All residents in the Center are adults and should be allowed to have guests over, even overnight if they want. If an individual hosting a guest makes too much noise, causes a disturbance, etc. that person should be held responsible. Those who feel unsafe with guests in SISC past 10pm can simply lock their doors. Situations like this are not reasons to limit those of us who follow rules. As this is our home, we should be allowed to have over whoever we see fit.

(今の規則ではゲストは夜 10 時までしか滞在できない。パンデミックの際に、入館者を制限するために課されたものと理解しているが、その時期が終わった今なぜこのルールが存在するのか、その正当性を説明し、この制限の継続を正当化する理由を提示すべき。正当化できないのであれば、この規則は廃止されるべきだ。居住者は成人なので、ゲストを泊めることも許されるはず。ゲストを招いた人が騒ぎすぎたり、迷惑をかけたたりした場合は、その人が責任を負えばよい。午後 10 時以降もゲストにいたのは危険だと感じる人は、ドアに鍵をかければよい。ここは私たちの家である以上、私たちが適切と考える人を呼ぶことは許されるべきである。)

•Beds in the rooms vary in quality, with most being older and clearly uncomfortable. As students, being able to rest effectively is key to our performance at school. Having information on when the mattresses were last replaced would be good information to have to assess their quality. Furthermore, I understand that residents may buy their own mattress and use it. However, SISC requires that residents manage the old mattresses. With limited room space and no additional storage areas, this is hardly a fair compromise. The purchase of new mattresses should seriously be considered. Another option would be if a resident wishes to buy their own mattress, SISC should consider disposing of the old one, and offering to buy the resident's mattress at a percentage of the purchase price when the resident moves out.

(部屋のマットレスの質はさまざまで、ほとんどが古く、明らかに寝心地が悪い。学生にとって、効率よく休めるかどうかは学校の成績のカギを握っている。マットレスが最後に交換された時期の情報があれば、その質を評価できるのでは。さらに、居住者が自分でマットレスを購入して使用してもよいということだが、センターでは古いマットレスの管理を居住者に義務付けている。部屋のスペースは限られており、追加の収納スペースもないため、これは公平な妥協とは言い難い。新しいマットレスの購入を真剣に検討すべき。また、入居者が自分でマットレスを購入したい場合、センターは古いマットレスを処分し、退去時に購入価格の何パーセントかでマットレスを買い取ることも検討してほしい。)

•I am very thankful to live in this center. It is very well located (groceries, subway). The rent and heating are cheap. Most importantly the people of the center (the guards and the staff) are wonderful people. It warms the heart greeting them while leaving or coming back. That said, there are small problems that I think mainly stem from cultural differences. Basically there are 3 kinds of ways societies manage to make people live together: 1)Shame. 2)Guilt. 3) Fear. Each country maintains harmony by using mainly one of these 3.

To put it in other words for example in sorting garbage. People from different countries ask themselves one of these questions:

- 1) Shame: What will people think of me if I throw the wrong garbage.
- 2) Guilt: Did I do the right/logical thing by throwing the wrong garbage?
- 3) Fear: Will I get punished for throwing the wrong garbage?

It is pleasant to live with different people but in order for harmony to be maintained I think this difference must be taken into account to help understand why some people don't follow the rules.

(私はこのセンターに住めることにとても感謝している。とても立地がいい(食料品、地下鉄)し、家賃も暖房費も安い。何よりセンターの人たち(警備員やスタッフ)が素晴らしい人たちで、出かける時や戻ってくる時に挨拶すると心が温くなる。とは言いつつ、主に文化の違いに起因すると思われる小さな問題もある。基本的に、人々が共存するには3種類の方法がある: 1)恥 2)罪悪感 3)恐怖であり、各国は、主にこの3つのうちの1つを使うことで調和を保っている。例えばゴミの分別について、異なる国の人々は、自分自身に次のような問いかけをする: 1)恥: 間違ったゴミを捨てたらどう思われるか。 2)罪悪感: 間違ったゴミの捨て方をした自分は正しいのか? 3) 恐れ: 間違ったゴミを捨てたら罰せられるのではないか? いろいろな人と一緒に暮らすのは楽しいことだが、調和を保つためには、なぜルールを守らない人がいるのかを理解するために、この違いを考慮に入れなければならないと思う。)

- ネットが遅すぎる
- Maybe dance classes or something like that. To interact with other people.
(ダンス教室のようなものがあると、他の人たちと交流できる。)
- Better to install a camera in the elevator for security purposes.
(防犯のため、エレベーターにカメラを設置した方が良い。)
- Refrigerator size is not enough in the family rooms.
(ファミリールームの冷蔵庫の大きさが足りない。)
- Stay of parents/siblings restricted to 21 days. There should not be any restriction on number of days or should be enhanced to 90 days.
(両親／兄弟の滞在は21日間に制限されている。日数制限を設けないか、90日間にすべきである。)
- Allow residents to deposit garbage at night as morning may be sometimes inconvenient.
(朝は不便なこともあるため、夜間にゴミを捨てられるようにしてほしい。)
- We would like to address the current dormitory rule that prohibits guests or friends from staying past 10 PM. While we understand and respect the reasoning behind this rule during the pandemic, we believe it is time to reconsider this restriction as circumstances have significantly changed. As responsible adults, we are fully capable of managing our personal safety and privacy. Residents can lock their doors if they have any safety concerns. Additionally, any instances of noise or disturbances caused by guests could be directly addressed with those responsible, ensuring the dormitory environment remains peaceful and respectful. The ability to host guests, especially those who provide emotional or social support, is an essential aspect of fostering a healthy and balanced lifestyle. This becomes particularly important for residents who are far from home or facing academic and professional pressures. Restricting visits after 10 PM often creates unnecessary stress and limits opportunities for meaningful personal interactions. Revisiting and revising this policy would not only enhance the quality of life for residents but also

demonstrate trust and respect for our ability to act responsibly. We are confident that a balanced approach to this rule would benefit the dormitory community as a whole.

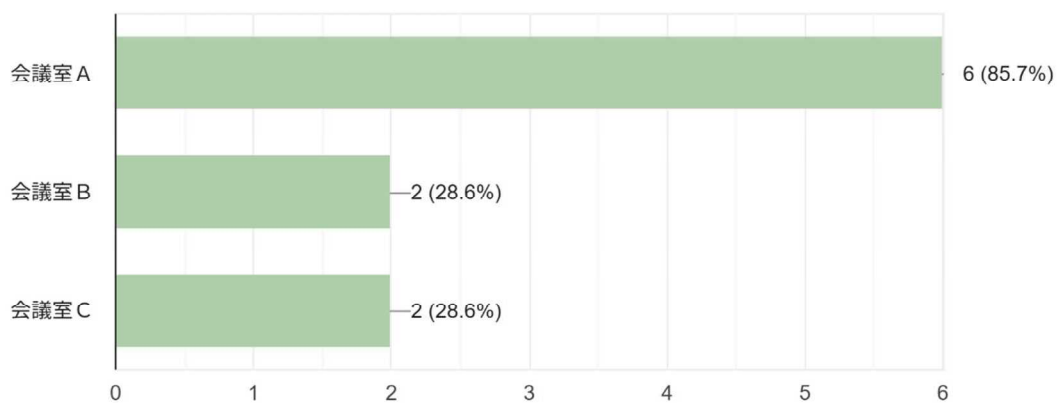
(ゲストや友人の午後 10 時以降の滞在を禁止する寮規則について意見したい。パンデミック時にこの規則を定めた理由は理解し、尊重するが、状況が大きく変化した今、この制限を見直す時期に来ていると考える。責任ある大人として、私たちは個人の安全とプライバシーを十分に管理することができる。安全上の懸念がある居住者は、部屋に鍵をかければよい。ゲストによる騒音や妨害があった場合は、その人を呼んだ居住者が責任を持って対処することで、平和な環境は保たれると思う。ゲストを受け入れることは、母国から遠く離れ、学業や仕事上のプレッシャーに直面している学生にとって精神的・社会的なサポートとなり、健康的な生活を育むために不可欠である。午後 10 時以降の面会を制限することは、不必要なストレスを生み、有意義な個人的交流の機会を制限することが多い。この方針を改定することは、居住者の生活の質を高めるだけでなく、私たちの責任ある行動能力に対する信頼を示すことになり、寮のコミュニティ全体に利益をもたらすと確信している。)

札幌留学生交流センターアンケート(会議室利用者)調査結果（令和6年度実施）

アンケート回収数 7 枚（団体数 7）

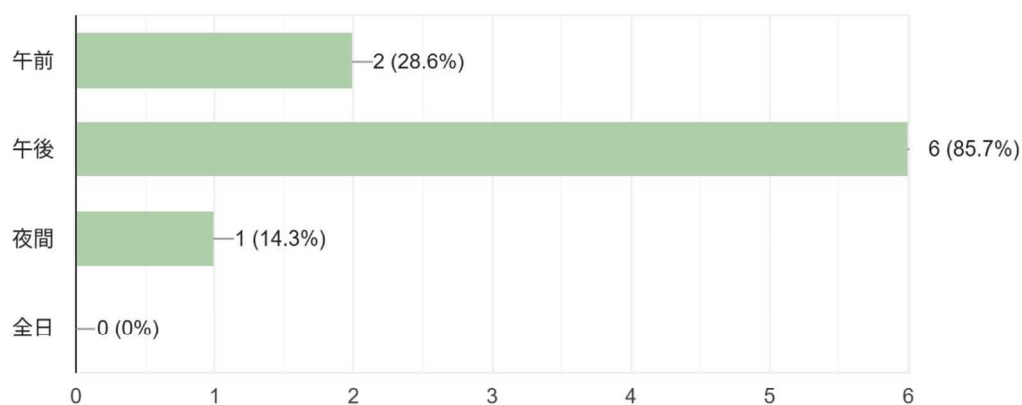
1. 利用した会議室を教えてください。

7 件の回答



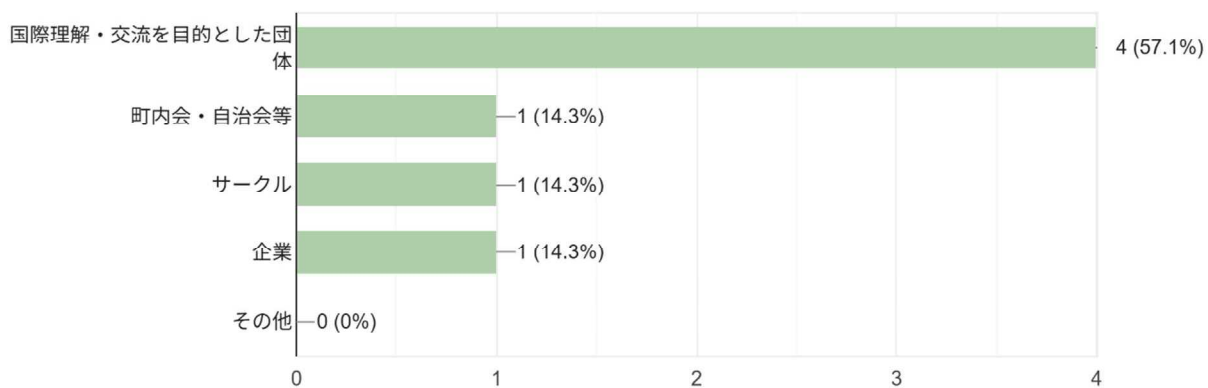
2. 利用した時間帯を教えてください。

7 件の回答



3. 団体の種類を教えてください。

7 件の回答

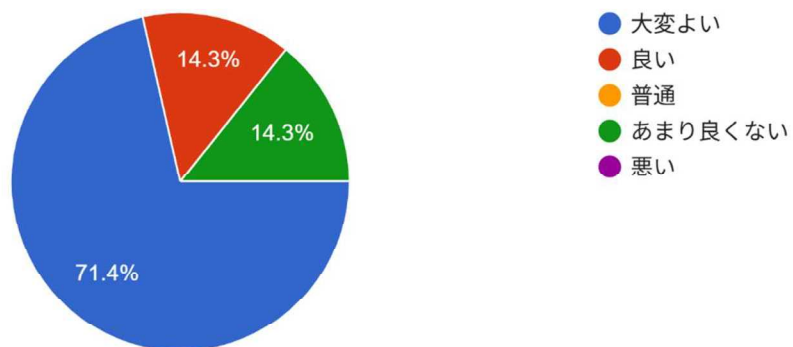


4. 利用者数を教えてください。7 件の回答

- 8 人
- 20~30 人
- 5
- 15 人
- 50
- 12
- 5 人

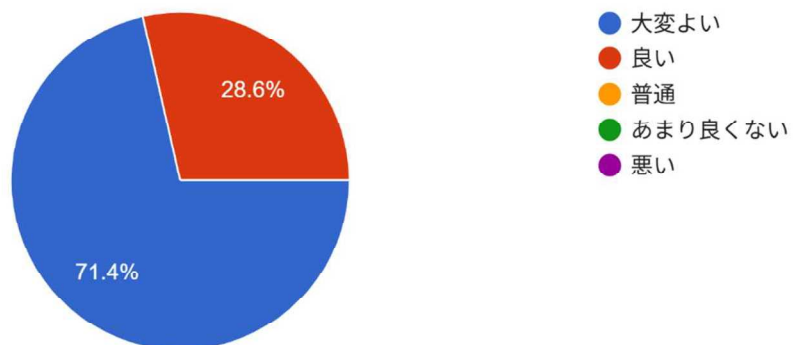
5. 会議室の申込方法は適切だと思いますか？

7 件の回答



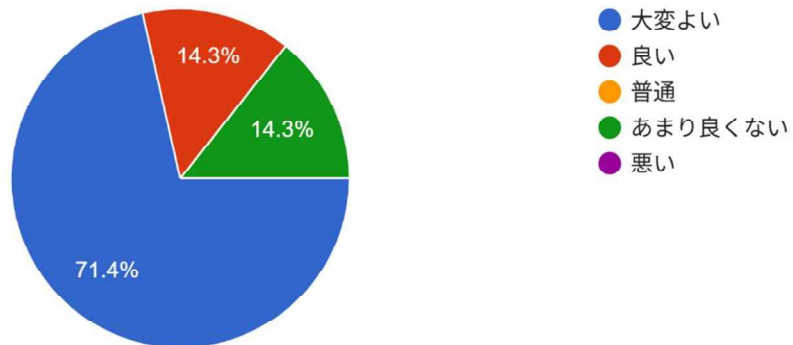
6. 利用時間区分は適切だと思いますか？

7 件の回答



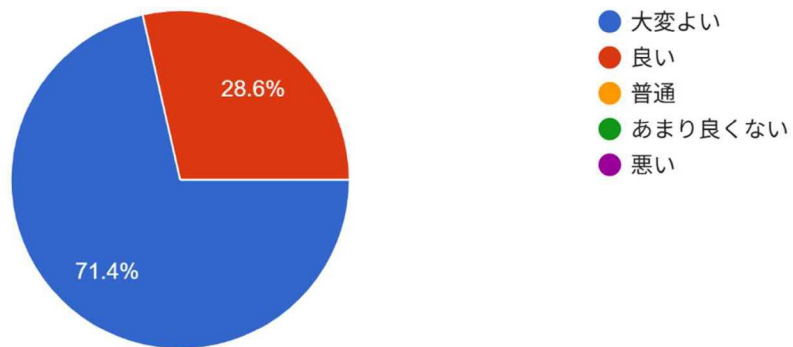
7. 料金の支払い方法は適切だと思いますか？

7 件の回答



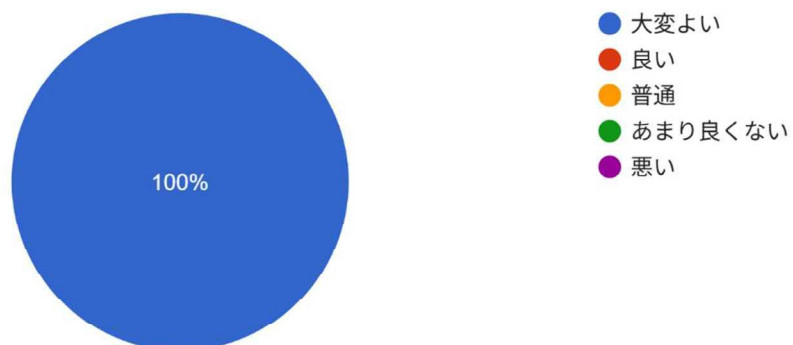
8. 施設・設備は良好だと思いますか？

7 件の回答



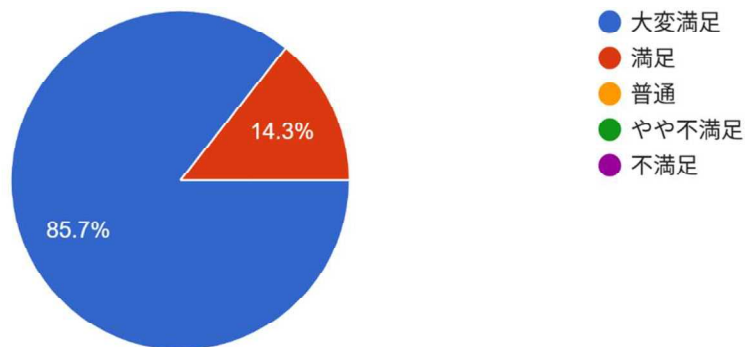
9. 職員の窓口対応はどうでしたか？

7 件の回答



10. 総合的な満足度を教えてください。

7 件の回答



11. 会議室はどのような目的で利用されましたか？ 7 件の回答

- サークルの会合
- 日本語学習支援・会の運用のための内部ミーティング
- ヨガ
- 交流会
- 海外訪日用(インドネシア行政官)と日本人との国際交流(ホームステイ対面式、歓送会)
- 指導員の定例研修会
- 会議

12. ご意見・ご要望がありましたらご記入ください。 7 件の回答

- 隣の部屋に別団体が入っていましたが、気にならずに活動できました。
- いつもお世話になっております。2025 年も引き続き利用させていただきたく、よろしくお願いいたします。
- ホワイトボードを通路に出せると、より便利だと思います。
- 申込みは FAX で送れたら助かります。使用料は振込できたら助かります。
- 利用料金が安く大変有難いです。ありがとうございます。
- 快適に使わせていただいております。以前、暖房が聞かないということもありましたが、それもなくなりました。今後とも宜しくお願いいたします。
- いつも大変お世話になっております。今後ともよろしくお願いします。

札幌留学生交流センター 留学生交流事業実施報告書（令和 6 年度）

	名 称	実施日	参 加 者	説 明
1	歓迎会 Welcome party (多文化共生)	4/14 (日)	入居者 43 名 北海学園大学 吹奏楽団 5 名 職員 3 名 計 51 名	今春入居した留学生を歓迎。北海学園大学吹奏楽団が演奏を披露。その後、自己紹介やフロア対抗ゲームを通して交流を深めた。
2	Hokkaido 海の クリーンアップ 大作戦 2024 (多文化共生)	5/18 (土)	入居者・元入居者・ 友人等 45 名 職員 2 名 計 47 名	北海道生協連が開催する海浜清掃に参加。他の参加者(200 名程度)とともに記念撮影をした後、1 時間ほど厚田海岸で清掃を行った。
3	町内会との花植え Flower planting with neighbors (多文化共生)	5/19 (日)	入居者 24 名 職員 3 名 地域住民他 20 名	町内会の方々に手順を教わった後、1 つの花壇マスにつき 5、6 名が集まり、協力して花を植えていった。
4	就職活動なんでも 相談会(企業)	6/4 (火)	入居者 12 名 講師 1 名 ジョブキタ職員 2 名 計 15 名	講師が就労ビザの種類とその内容、在留資格変更の手続き等を説明し、そのあとの質疑応答では多くの質問が寄せられた。
5	北海道神宮例祭山 車曳き (多文化共生)	6/15 (土)・ 6/16 (日)	入居者 11 名 地域住民 約 40 名 計 51 名	衣装を身に着け、豊平神社を出発し、参加した地域住民と一緒に山車を曳いた。日本文化体験の良い機会となった。
6	合気道教室 (多文化共生)	7/7 (日)	SKY ボランティア 6 名 講師・弟子 9 名 参加者 12 名 計 27 名	講師が弟子とペアになり、説明をしながら技を参加者に披露した後、参加者は弟子と一対一で教わりながら繰り返し練習した。
7	たのしい夏祭り～ みんなで盆踊りを 踊ろう～ (多文化共生)	8/3 (土)	入居者 39 名 町内会 18 名 学生ボランティア 12 名 計 69 名	町内会の方々と盆踊り 3 曲を踊った後、太鼓体験をしたり、輪投げ、腕相撲、射的、金魚釣り、かき氷を楽しんだ。

8	留学生文化紹介セミナー2024 (多文化共生)	9/7 (土)	入居者 2名 市民 58名 計 60名	中国出身の留学生とモンゴル出身の留学生がそれぞれの国での生活について紹介した。参加者からは多くの質問が寄せられた。
9	インターナショナルごみ拾いビーチウォーク (多文化共生)	9/22 (日)	入居者 14名 他大学 10名 一般 65名 計 89名	はまなすの丘公園周辺の海岸にて、留学生と一般の参加者が協力しゴミ拾いをした。
10	留学生と地域の合同防災訓練 (多文化共生)	10/5 (土)	入居者 60名 地域住民 20名 協力者 10名 計 90名	避難訓練の後、消火器・AEDの使い方を学んだ。センターでの火事事例紹介や防災情報を共有し、警察からは交通ルールなど留学生向けの注意説明があった。
11	秋期新入館生歓迎会&HMSC ウィンターバザー (多文化共生)	10/5 (土)	入居者 55名 来賓 6名 協力者 18名 計 79名	北海学園大学吹奏楽団の歓迎の演奏の後、新入居者の自己紹介、階対抗グループゲーム、HMSCによる〇×クイズ等を楽しんだ。最後に、HMSCによる寄付で集めた冬物等を無料で提供した。
12	イオン北海道との交流会 (企業)	10/25 (金)	入居者 22名 イオン 5名 計 27名	イオンの企業紹介の後、食料寄付の感謝状を贈呈し、留学生手作りの料理を食べながらグループに分かれて交流した。各グループでたくさんの質問が寄せられた。
13	日本料理教室 (多文化共生)	11/2 (土)	入居者 25名 SKY 5名 計 30名	SKYメンバーがレシピを一つずつ日英で説明し、グループに分かれ、お弁当を作った。メニューはちくわ巻き、漬物、出汁、おにぎらず、豆腐のムースで各自きれいに詰めて持ち帰った。
14	世界探検まつり2024 (多文化共生)	12/7 (土)	入居者・来場者 約 170名	餅つき体験やパフォーマンス、語学体験、世界のあそび、世界の料理などを通じて、地域の多文化交流を促進した。今回新たに写真コンテストを実施し、来場者投票により表彰者を決定した。

15	料理交流会 (多文化共生)	12/12 (木)	入居者 3 名 参加者 20 名 計 23 名	イタリア、台湾、ケニア出身の留学生が講師となり、地域住民と一緒に各国の料理を作った後、日本料理の伊達巻なども作り、異文化交流を深めた。
16	みんなで雪遊び～ 札幌の冬を楽しもう～ (多文化共生)	1/17 (金)	RA 1 名 学生ボランティア 4 名 館生・友人 13 名 計 18 名	雪中リレー、宝さがし、的あて、雪うさぎづくりを体験しながら、日本人大学生と入居者が交流した。また、雪遊びの後には温かいマサラチャイを飲みながら、会話を楽しんだ。
17	氷上わかさぎ釣り 体験日帰りツアー (多文化共生) ※札幌圏大学国際 交流フォーラム主催	1/25 (土)	館生 25 名 留学生ほか 10 名 計 35 名	4～7 人のグループに分かれ、テント内でわかさぎ釣り体験をした。昼食後、各々入浴したり、雪遊びをして楽しんだ。

* 注

(多文化共生)：地域における多文化共生意識醸成を目的とした事業

(企業)：留学生と企業との交流事業

(その他)：その他事業